2023年度厚生労働省医政局委託事業 「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP/地域BCP策定モデル地域 奈良県生駒市における取り組み(報告)

生駒市福祉健康部地域医療課 水澤·天野·髙瀬 奈良県地域医療連携課 兼 郡山保健所 本木

わが地域の課題と今年度取り組んだ課題(1)

- ・今年度わが地域のBCP観点から課題として挙げていたことすべて
 - ①医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所等各事業所のBCP策定状況について 十分な共有ができていない。
 - ②令和4年度に介護事業所を対象としたBCP策定研修を実施しているが、医療機関対象のBCP策定研修は実施できておらず、BCP策定スキルに事業者間で差異が生じている。
 - ③新型コロナ対応では、大規模事業所や法人で対応することができたが、当初は、事業所・行政ともに即時対応ができなかった。
 - ④協議体があったが、新型コロナ対応により中断し、十分に活用することが出来なかった。
 - ⑤行政側の福祉・医療部門においてBCPの作成がされているが、十分な活用が出来なかった。

【課題に対する取組方針】

- ・災害対応に関する現在の状況について、市内医療介護事業所間、行政においての情報共有が必要
- ・情報収集及び課題抽出が必要なため、グループワークを中心とした取組を開始

わが地域の課題と今年度取り組んだ課題(2)

・実際取り組んだ課題

- (1)医療・ケア機能の分担・連携⇒医療介護資源マップの作成、入所施設・医療機関の受入れキャパシティの検討
- (2) 電源確保に向けた調査準備

(3)安否確認

利用者の安否確認にかかる項目	課題	対応
①各事業所、担当者ごとに安否確認の優先順位	・利用者のトリアージ(優先度をつけること)が必要 ・災害発生時に備えて、事前に家族との話し合いが必要	自機関 BCP
②安否確認の重複や漏れ	・「安否確認」時にどのようなことを確認するのか・誰が安否確認をするのか整理が必要・専門職による確認だけでなく、自治会や家族による確認も必要	連携型
③収集した情報の発信方法	・個人情報の取り扱いが不安 ・電話が使えないときにどうやって連絡をとるのか ・市内で共通の様式があればいい	BCP 地域BCP
④安否確認後に、助けが必要な方への対応	・避難先を事前に確認: 自宅、福祉避難所、病院 ・避難を希望する人の搬送方法	

2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

取り組みの概要(I)

•背景

- ①令和3年度介護報酬改定による介護事業所のBCP策定の義務化を受け、 市内介護事業所が自機関BCPの策定を開始。
- ②新型コロナウイルスの感染拡大やクラスターの発生による、人員不足などを 経験し、医療・介護事業所ともにサービス提供体制の継続に不安・危機感を 持っている。

・目的

- ①市内の在宅医療に関わる医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所等が 災害時における医療提供体制を充実・強化するため、連携型BCP・地域BCP に対して共通の理解をする。
- ②災害時に継続した医療・介護サービスを提供するために、地域の課題を 市内事業所間で検討し、課題解決に向けた連携体制を構築する。

-

取り組みの概要(2)

・参画機関

- ◇生駒市医療介護連携ネットワーク協議会
 - ·生駒市医師会
 - •生駒地区医師会
 - ·生駒市内病院
 - ·生駒市歯科医師会
 - •生駒地区薬剤師会
 - ・訪問看護ステーション
 - ・地域包括支援センター
 - ·居宅介護支援事業所
 - ·訪問介護事業所
 - ·通所介護事業所
 - ·介護老人福祉施設
 - ·介護老人保健施設
 - ·小規模多機能型居宅介護施設

- ◇行政(市)
 - ·総務部 防災安全課
 - ·福祉健康部 福祉政策課
 - ・福祉健康部 地域包括ケア推進課
 - •福祉健康部 介護保険課
 - •福祉健康部 地域医療課
- ◇行政(県)
 - •福祉医療部医療政策局 地域医療連携課
 - ·郡山保健所 健康增進課

2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

取り組みの概要(3)

・方法①

連携型BCP・地域BCPに対する共通理解を深めるために3回の講義を実施

内容	対象者	参加者数
(1)新型コロナウイルス感染症 5類移行後の事業所対応について ~リスク管理・事業継続計画(BCP)の視点から~ 講師:奈良県郡山保健所 次長 福祉医療部医療政策局 地域医療連携課 参事 兼務 本木 隆規 氏		70名 53事業所
(2) 地域BCPのススメ ~スタッフ、そして患者・利用者のいのちと生活を守るために~ 講師: 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長 山岸 暁美 氏		48事業所
(3) 地域BCPのススメ ~スタッフ、そして住民のいのちと生活を守るために~ 講師: 奈良県福祉医療部医療政策局 地域医療連携課 参事 郡山保健所 次長 兼務 本木 隆規 氏	年級機関(1) 人	59名 24事業所



取り組みの概要(4)

·方法②

災害対応に関する課題整理及び対応策検討のため、全3回の全体講義+職種別グループワークを実施 講師及びファシリテーター: 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 機構長 山岸 暁美 氏

	内容	対象者	参加者数
第1回	【講義】 ・BCP策定の取組報告 ・シミュレーション訓練(地震) 【グループワーク】 地域で地震などの有事が発生した時に周りの事業所や、 病院とどう連携するか		33名 26事業所
第2回	【講義】 個別避難計画 【グループワーク】 グループごとにテーマを設定	医療介護従事者	39名 28事業所
第3回	【講義】 ・令和6年 能登半島地震 ・災害時要援護者避難支援事業 【グループワーク】 グループごとにテーマを設定		26名 20事業所



2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

取り組みの概要(5)

「(1)医療・ケア機能の分担・連携」に対する取り組み

- ◇医療機関(病院・診療所・薬局):Iグループ
- ◇入所施設(特養・老健・有料老人ホーム等): Iグループ 入院患者、入所者の状況を整えた上で、 自機関における在宅療養患者の受入体制を整備するために、 自機関BCP作成の重要性を共通認識。

【課題(共通)】職員参集状況、災害本部体制(指示系統含む)の整理
⇒ 市外在住の職員が多いため、
発生時間によっては職員の参集に時間がかかる

【課題(入所施設)】自家発電含む電源設備、 他施設や行政への通信手段などハード面の不足

【課題(医療機関)】医療救護体制の運用方法の検討



S

取り組みの概要(6)

「(1)医療・ケア機能の分担・連携」に対する取り組み

◇訪問看護ステーション: | グループ

先進自治体の事例をもとに、

訪問看護ステーション連携体制フローチャート作成。

コロナ禍の経験に基づき、実効性を中心に検討。

【課題】・個人情報共有の取り扱い

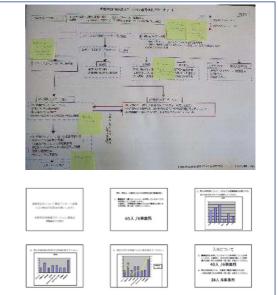
・ステーション間の情報伝達の方法 等

「(2) 電源確保に向けた調査準備」に対する取り組み ◇行政(市)

生駒市訪問看護ステーション連絡会にて、電源確保が必要な 在宅療養者数を調査。

その結果をもとに、行政として、一般避難所における貸出用 ポータブル電源の整備や、電源スポットの設置などについて 検討を進める。

【課題】アンケート調査方法の見直し





2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

取り組みの概要(7)

「(3)安否確認(⇒ 個別避難計画の様式(案)を検討)」に対する取り組み ケアマネ:2グループ、地域包括支援センター:1グループ、在宅サービスを提供する介護事業所:1グループ



【第2回グループワーク】 参加者が担当している ケースのうち、医療または、 介護ニーズが多く、災害時 に高リスクとなる方を事前 にトリアージして個別避難 計画を作成。

【課題】

- ・個別避難計画の周知 (理解)不足
- ・活用方法が分かりにくい

か対応を上がいます。 サールとしない。 サールとしない。 できないか全かっては、以下のよいのできないが全かっては、以下のよいでは、以下のよいでは、以下のよいには一般では、以下のよいには、は、以下のよいには、は、以下のよいには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	用します打印のののでは、 いたのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	明者で自然 は何けるまで、 は何えまで、 など、 ののののの していば、場	分や記して、	基準	本のする場ですいい。本合	DM D DS Di DE DI	すると情れている をはれている をはれている	服を共有 5か確認を 阿恩を何	・ロ無
ケアマネジャーできない方全量のできない方のできない方のできない方のでは、以下のことができた。 「一世」では知知のでは、「一世」に、「一世」に、「一は、「一世」に、「一世」に、「一世」に、「一は、「一世」に、「	等の利用である。	財者でお は考します。 のののの ののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの のののの ののの のののの のの のの のの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの ののの のの のの ののの ののの のの のの ののの の	記して、 す。 リスク い い い い い い い い い い い い い い い い ら い ら	AL PROPERTY OF THE PARTY OF THE	明日 個人 のする場ですいい	□S□ト □男 情報の共 人・家族に 原を得ら 人、「有」を で し、「有」を で し、「で し、「で し、「で し、「します。」	FAX のおと情れている 総共有の直接して	女 口有 服を共有 5か確認 阿最を得	・口無 提出 すること を行いは
っては、以下のようでは、以下のようではただくことになっていまた。 ではたりで優大調位がまた。 お子夏間達名送射線(かさてい、 は、はいいは、いいは、いいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、は	こな頃代になると、 にない、八番目を持ち返り、 はな返り、 はながらい。 もながらい。 もながも。 もながも。 もながら、 もながらい。 もながも。 もながら、 もながら、 もながら。 もながも。 もなも。 もな	立付けを考えま! がなど 単木 一 2 000000	まして、 す。 リスク は 2000	AL PROPERTY OF THE PARTY OF THE	明日 個人 のする場ですいい	□S□ト □男 情報の共 人・家族に 原を得ら 人、「有」を で し、「有」を で し、「で し、「で し、「で し、「します。」	FAX のおと情れている 総共有の直接して	女 口有 服を共有 5か確認 阿最を得	・口無 提出 すること を行いは
でいただくこと」 ではたいがない。 では、サービス担当の の表表をさい。 のでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	になると、 のでは、 はな通事 には、 はな過事 には、 はな過事 には、 はな過事 には、 はな過事 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	考えまサード! など サード! など サード! など サード! など サホール 00000	す。 リスク 2000 31つの そのは 合。記さ	AL PROPERTY OF THE PARTY OF THE	明日 個人 のする場ですいい	□S□ト □男 情報の共 人・家族に 原を得ら 人、「有」を で し、「有」を で し、「で し、「で し、「で し、「します。」	FAX のおと情れている 総共有の直接して	女 口有 服を共有 5か確認 阿最を得	・口無 提出 すること を行いは
ンで優先順位かり、 リービス現場 耐要加速を 耐を対し、 M. city.ikoma ロージョー の通知は、行政 が、の要があった。 のの関係があった。 ののの関係があった。 ののの関係があった。 ののの関係があった。 ののの関係があった。 ののののでのののでののでののでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	部、八八 は古金編 は支援率 には、「ロップ」 で提示し が望まし ので、サー	ザード!、など 要ホー/ 000000 している。 い人は、	Jスク 2000 31つの 31つの 6.記さ	AL PERSON	倒しまのする場では、関係	□ 男 情報の共 人・家族以 成を得ら 人から情報 、「有」をi でください します。	写 FAX (外と情れてい。 般共有の 最択して	口有 報を共有 5か確認:	世歴 すること を行いま
日、サービス担当 特要組織者が W.C.City.lkoma ログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	は古会議 は支援率 はは、jp// にで提示し が望まし なで、サー	など 関ホー/ 000000	2000 2000 31つの き、記が 合、記さ	AL PERSON	倒しまのする場では、関係	情報の共 人・家族以 息を得ら 人から情報 、「有」を記 、「てください	FAX (外と情れている 提供有の 選択して	口有 報を共有 5か確認:	世歴 すること を行いま
駅ください。 w. city.ikoma ロール の は が は が は が は が り が り が り の り の り の り の り の り の り の り	Lig.jp// で提示し い望まし 見に登録 です、サー	ロののの	000 NA 51つの きの始	温を記し	本のする場ですいい。本合	人・家族以 原を得ら 人から情報 、「有」をi てください します。	EAX いかと情れている 提供有の 最終して	服を共有 5か確認を 阿恩を何	世歴 すること を行いま
w.city.ikoma	で提示して記録のである。	している い人は、 ける場	NU 51つの そのt 合。記	A SECTION AND A	本向。本合	人・家族以 原を得ら 人から情報 、「有」をi てください します。	は外と情れている 提供有の 選択して	報を共有 5か確認さ 阿根を領	
は 譲寝曲 のの理由は、行政 に市の要値 の同意が得られ	で提示して記録のである。	している い人は、 ける場	NU 51つの そのt 合。記	ee i	の向する場合	原を得ら 人から情報 、「有」をi てください します。	れている 提供有の 選択して		
(保 連選由) の理由は、行政 以外でも登録が 市の要担護事! 、の同意が得られ	で提示しい。	口いる い人は、 ける場	51つの そのe 合、記	ee i	場合	、「有」をi てください します。	選択して		
(保 連選由) の理由は、行政 以外でも登録が 市の要担護事! 、の同意が得られ	で提示しい。	口いる い人は、 ける場	51つの そのe 合、記	ee i	場合	、「有」をi てください します。	選択して		
護理由】 の理由は、行政 以外でも登録が 市の要援護事! 、の同意が得られ	で提示しい。	している い人は、 ける場	51つの そのe 合、記	ee i	関化し お解礼	します。			
の理由は、行政 以外でも登録が 市の要接護事態 、の同意が得られ	が望まし 間に登録 なず、サー		そのi 合、記	ee i	関化し お解礼	します。			
8台助災マップ。 ・プは生駒市ホー www.city.ikoma.l	ドマッフ こてご確 -ムペー: sjp/0000	ウ情報 謎をお ジから最 0001045	願いし 記まで: html				188	(助務) 事情.:	信考 形、身体的) 交流频度等
溽(ハザード	マッブ)情報	ł						
									ミゾーン コーゾー: 外
作成者の負担 小服のものとす そのため、全! あるため)	が大きく 見てい 事業所の					は情報集ま 作成者が3			
	総合助災マンプ・ プロは生物形式・ は、一 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	203域等(バザードマク) 参加別マックに表現所を一点へ アルは重用を一点へ一 の一般でで開催されている (4) 居住建物 建築がわれれ56年 なか、生制所では動 なが、生制所では動 (5) 介護女道事業所に (5) 介護女道事業所に で研究の企の必要ない。全事業所の そのため、全事業所の をあるため、全事業所の をあるため、全事業所の をあるため、	(23 年代/パケードマップ 内間 会的原マップ に (報道を) プロ は (報道を) プロ は (報道を) 用する (報道を) 用する (報道を) 展出する (4) 原任 (報道を) 第2 年 (4) 原任 (報道を) 第2 年 (4) 原任 (4) 原任 (4) 原任 (4) 原任 (4) 原任 (4) 原任 (4) 原本 (4	会的以ネッカーに「無知を主義し、 フリエ生薬物・一人ツラ・組まっ では、「サードマッカ」情報 (4) 原仁財・一ドマップ)情報 (4) 原仁財・ (4) 原仁財・ (2) 東海下のは、 (5) 介在 没種事業所に対するが、 (5) 介在 没種事業所に対するが、 (6) 介在 没種事業所に対するが、 (5) 介在 次種事業所に対するが、 (5) 介在 次種事業所に対するが、 (5) 介在 次種事業所に対するが、 (5) 介在 次種事業所に対するが、 (5) 介在 次種事業所に対するが、 (6) 介述 (6) ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(230歳年/レーマン 77億日 金額数でメリカで、200歳年を新します。 アリュ生物や・ボルベーアが少報できる。 田子で信息ではいる場合をかけます。 高くいグートマップ 76歳 (人間では初 は、200歳年年 190年 1人利助 は、200歳年 190年 1人利助 である。よる事態機のブスクが見います。 (5)介含える事情のでは低温を含むます。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含えるまでは一般である。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含える事情がである。 (5)介含なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりまた。 (5)介容なりなりなりまた。 (5)介容なりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなりなり	233歳(ハケーマップの報酬 動物のサップルで、「おいます」、 のでは、「おいます」、「まいます」、「まいままままままままままままままままままままままままままままままままままま	203歳年(ハケーマップ機能 前の間が、対して、100歳年を開発します。 プログライン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファ	は20年(ハイドウン7回程) (20年(ハイドウン7回程) (20年(ハイドウン7回程) (20年(ハイドウン7回程) (20年(ハイドウン7回程) (20年(ハイドウン7)位程 (20年(ハイドウン7)位在 (20年(ハイドウン7)	2020年(メイナーマン79年) (2020年(メイナーマン79年) (2020年(マイナーマン79年) (2020年(マイナーマン79年) (2020年(マイナーマン779年) (2020年) (202

【第3回グループワーク】 個別避難計画の作成意義 を担当課から説明し、事務局 で準備したモデルケースで 個別避難計画を作成。

【課題】

本格運用に向けて、記入例 やマニュアルが必要

取り組みの概要(8)

•考察

- ①医療職・介護職が同時に集まり、職種ごとにテーマを分けてグループワークを実施。
 - ・職種ごとに、発表時間を設けることで、他職種がどのような協議を行ったかを 知ることができた。
 - ・平時からの備えや顔の見える連携の必要性を感じてもらうことができた。
- ②各グループに行政職員が1名ずつファシリテーターとして参加。
 - ・行政から、医療・介護・福祉・防災部門と部を越えた参加があり、 庁内連携の強化ができた。
 - ・現場の声(課題や困り事)を直接聞くことで、より具体的な政策につなげる足がかりとなった。

2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

取り組みの概要(9)

・取り組み遂行上うまくいったこと

- (1) 医療介護連携に関する協議体があったため、委員を中心に参加協力を依頼。 コロナ禍もあり、顔の見える連携や多職種連携研修会が停滞していたため、 BCP研修の呼びかけに対して、参加申し込みされる方が多かった。
- (2)グループワークを中心に行ったことで、実際の医療・介護現場における災害に対する悩みや不安を事業所間及び、ファシリテーターを務める行政も一緒に 共有することができた。
- (3)全3回の講義とグループワークを行うために、頻回の事前打ち合わせを市及び県と行うことで、部局を越えた行政間の連携体制が強化された。
- (4) 災害を意識し考えるきっかけを作ったことで「危機感を持つ」土壌づくりができた。

取り組みの概要(IO)

- ・取り組み遂行上うまくいかなかったこと
 - (1) 多業種を同時併行で進行したが、業種ごとの課題や方向性が違うため、 統一テーマでの実施が困難であった。
 - (2) 自機関での困りごとにとどまってしまうことが多く、 他事業所や他法人との連携まで考えるのが難しかった。 「個」のケースに対して、「できない」部分に着目してしまった。
 - (3) 連携型BCP・地域BCPに視野を広げるため、 事務局が明確なイメージやゴールを持つ必要があった。

2023年度在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業 連携型BCP/地域BCP策定支援

今後の課題・取り組み

- ・目的:災害時における在宅療養患者(要介護認定者)への支援体制構築
- ・令和6年度の取組予定

主担当課	主担当課 内容		方法		
	災害時における事業所間連携体制整備の支援 (訪問看護ステーション)		生駒市訪問看護ステーション連絡会にて協議		
地域医療課	2	災害時における事業所間連携体制構築の検討 (介護事業所等)	連携体制構築を希望する事業所にて連絡会開催		
	3 連携協定書に基づく医療救証		生駒市医師会、生駒地区薬剤師会と協議		
	4	市内病院における災害時連携体制の構築	生駒市内病院連絡会の開催		
る 福祉政策課		災害時要援護者避難支援事業の普及・啓発	医療・介護専門職へ研修会を実施		
1曲征以来际 —	6	個別避難計画 (新様式) の運用と検証	自治会、福祉事業所等との協議		
防災安全課	7	指定避難所の環境整備	上記、各取組を踏まえ、必要な整備を実施		